



金澤 翔子 (かなざわ しょうこ)

書家

1985年誕生。東京都出身。5歳から母の師事で書始める。
20歳、銀座書廊で個展。その後、法隆寺、東大寺、薬師寺、延暦寺、中尊寺、建仁寺、熊野大社、厳島神社、三輪明神大神神社、大宰府天満宮、伊勢神宮、春日大社等で個展・奉納揮毫。福岡県立美術館、愛媛県立美術館等で個展、ニューヨーク、チェコ、シンガポール、ドバイ、ロシア等で個展を開催する。NHK大河ドラマ「平清盛」揮毫。国体の開会式や天皇の御製を揮毫。紺綬褒章受章。
日本福祉大学客員准教授。文部科学省スペシャルサポート大使。
東京2020公式アートポスター制作

令和2年12月作成

雲外蒼天の意

困難を乗り越え、努力して克服すれば、快い青空が望めるという意味。絶望してはいけないという激励のことば。

【出典】日本実業出版社（著：真藤 建志郎）「四字熟語の辞典」より抜粋

金澤翔子氏からのメッセージ

蒼天が望める日は必ず来ます。

未曾有の困難な時代ではありますが、共に手を携え、皆で乗り越えていきましょう。